

すでに世界は堅牢に積み上げられ
あとから来たぼくたちが
何かを加える余地はない——

でもそれは本当だろうか

つながる力は 誰にも負けない
愛する想いは 誰よりも強い

人口ピラミッドの底辺にうづくまる
ぼくらの世代に託された真実がある
ゆとり世代といわれたぼくらの中に
大きな力が宿っている

集い来たれ 仲間たち

この日 ぼくらは
世界が振り向く
新しい生き方を始める

あるぼくたち 大きな力の中に

2025

青年講演会

講演 高橋佳子

9.7

SUN
東京国際
フォーラム

2025 青年講演会

2025 青年講演会とは

今、私たちは、何が本当で何が確かなのかわからない時代を生きています。その中で、未来を担う青年たちにもっとも必要なこと——それは、1人ひとりが内なる「心の力」を引き出してゆくことではないでしょうか。

「2025青年講演会」は、高橋佳子先生が、そのための智慧とメソッドを青年たちに直接伝授される場です(対象:中学生から35歳までの方)。進路や就職、結婚や転職など、人生の岐路においてベストの選択をするためにも、「心の力」は決定的な役割を果たします。当日は、青年たちによる「魂の学」の実践発表もあります。

1人でも多くの青年の参加をお待ちしています。

LECTURER PROFILE

講演者
プロフィール

たかはし けいこ

高橋 佳子

著書は「心の力」「もう1人の自分」「ゴールデンパス」「自分を知る力」「魂の冒険」「新・折りのみち」など90冊を超え、迅速な現代社会の中で、人間の尊厳と可能性を問い直す「もう1つの知」として読み継がれている

「人は、なぜ思うように生きられないのか」「どうすれば、1人ひとりが変わり、社会を変えることができるのか」——。こうした問いを長年探究する中で、高橋佳子氏は、人間の思考や行動の背後の根幹にある「魂」を、今この瞬間から新たな人生と世界を創造する強力なエネルギーとして再定義し、「魂の学」を確立。それは、従来の心理学や哲学、精神世界を超えた、「心」と「現実」を1つにつなぐ極めて実践的な知の体系である。

実際、氏のもとには、経営・医療・教育・法務・福祉・芸術など、様々な専門家が集い、1996年から毎年開催している「トータルライフ(TL)人間学セミナー」では、心の成長と社会変革を同時に起こす新たなリーダーが生まれ続けている。主宰するGLAを基盤に、年間300回以上の講義や個人指導を行いつつ、1992年以降、全国各地で開催している講演会には延べ170万人が参加。その活動は、専門家から一般の人々まで、幅広い層に支持を広げている。



開催日時

9月7日(日)

12:00開場/13:00開演/16:30終了予定

参加対象

中学生～35歳の方

参加費

学生：2,000円 一般：3,000円

(中学生・高校生・専門学生・大学生・大学院生)

申込方法

お申し込み希望の方は

050-1807-9372 にご連絡ください。

GLA会員の紹介で参加される方のお申し込みについては、下記のいずれかの方法で会員の方がお申し込みください。

GLA携帯入力サイト <https://www.gla.jp/k/>

GLA会員ホームページ <https://www.gla.or.jp>



GLA携帯
入力サイト



青年講演会
公式サイト



青年講演会
公式Instagram

主催

2025
青年講演会実行委員会

TEL: 050-1807-9372

10:00～17:00(月曜除く)

公式サイト: <https://seinen-lecture.jp>

本会場

東京国際フォーラム ホールB7

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1

JR線

有楽町駅より徒歩1分

東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

地下鉄

有楽町線:有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡)

千代田線:二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分

丸ノ内線:銀座駅より徒歩5分

銀座線:銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分

三田線:日比谷駅より徒歩5分

中継会場

北海道——GLA北海道会館、GLA函館会館

東北——GLA東北会館

東京——GLA新潟ターミナル、沖縄県市町村自治会館

北陸——GLA北陸会館

中京——GLA中京会館、GLA三重会館、GLA松本ターミナル

近畿——GLA近畿会館

中国四国——GLA中国四国会館、GLA広島会館、GLA高知会館

九州——GLA九州会館、GLA山口会館、GLA熊本会館、GLA大分ターミナル、GLA宮崎ターミナル、GLA鹿児島ターミナル

講演者
最新刊

心の力

人生に奇跡を起こすたった1つの方法

心の憑きものを落とし、
起死回生の現実を生み出す!

高橋佳子 著

